

別添資料1-1

一関第一高等学校 CAN-DO LIST

1学年

<育てたい生徒像>		外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。	達成度
<具体的到達目標>		習得した英語の知識を生かしながら相手の伝えたいことを理解し、適切な表現を使いながら自分の意見を伝えることができる。 ■外部試験による到達目標目安 GTEC Grade 3 80%	B
4 技能	Listening	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	B
		比較的ゆっくり話される100~200語程度の英文を、数回聞けば概要をおおむね理解できる。	B
		教室内で用いられる英語は、ある程度自然なスピードでくり返し話されていればほぼ理解でき、状況に応じた行動に移すことができる。	B
	Reading	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	A
		トピックセンテンスを探し出すなどパラグラフごとに書かれている内容の概要や要点を短時間で理解することができる (目安: 80 WPM)	A
		物語やエッセイを読む時は辞書を引かなくても、ある程度推測しながら全体を読み通してストーリーの概要や要点を理解することができる。	A
		説明文や論理的な英文を、文章の構成や論理の流れに注意しながら、内容を適切に理解することができる。	B
	Speaking	身近な話題について英語でスピーチをすることができ、そのスピーチに対する英間に英語で何とか答えることができる。	A
		日常生活や趣味などの与えられたトピックについて、ワードリストやワードマップを利用すれば2分程度話し続けることができる。	A
		聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを発表したり質問に答えたり、または相手が発表したものを見て即興で質問したり意見を述べたりすることができる。	B
	Writing	自分の意見や感想を整理し、ある程度まとまった内容を、文の構造を意識しながら書くことができる。	B
		自分に関することや日常生活に関する内容について、ワードリストやワードマップを利用して(制限時間内に)まとまりのある文章を書くことができる。(目安: 80語程度)	A
		辞書を使用しなくともある程度文章を書き、自分や他人の書いた英文を辞書等を活用しながら推敲することができる。	A
基礎 技能	語彙・発音	1600語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの1200語程度は自由に使用することができる。 辞書の例文を読み、その単語の使い方を理解することができる。	C
	音読	内容を理解している英文を、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読できる。	A
	文法	既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを使用して適切に表現できる。	B

※ 達成度はA(おおむね80%以上)・B(おおむね60%以上)・C(おおむね40%以上)・D(おおむね40%未満)の4段階。個別と技能毎に年度末に記入

2学年

<育てたい生徒像>		外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。	達成度
<具体的到達目標>		習得した英語の知識を生かしながら相手の伝えたいことを理解し、適切な表現を使いながら自分の意見を伝えることができる。 ■外部試験による到達目標目安 GTEC Grade 5 50%	B
4 技能	Listening	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	B
		自然なスピードで話される100語から200語程度の英文を、スピードやポーズにある程度配慮すれば、その使用状況や概要をおおむね理解できる。	B
		教室内で用いられる英語は、ある程度自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、状況に応じた行動に移すことができる。	A
	Reading	説明、評論、物語、隨筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方ができる。	A
		パラグラフ内の要点を短時間で理解することができるとともに、パラグラフ内の内容のつながりも理解することができる。(目安:100WPM)	B
		比較的平易なやや長めの物語やエッセイを辞書を頻繁に引かなくても、ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。	B
		説明文や評論などの論理的な英文を、辞書を使用しながら、文章の構成や筆者の主張、図表との関連に注意し内容を適切に理解することができる。	A
	Speaking	身近な話題について自分の意見を英語で述べることができ、そのスピーチに対する質問に英語で何とか答えることができる。	A
		自分が興味を持ったニュースや話題について、相手に伝わるように簡潔に話すことができる。 (目安:prepared speech : 90秒 / impromptu speech : 相手が理解できるように)	A
		聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを発表したり質問に答えたり、または相手が発表したものを見て即興で質問したり意見を述べたりすることができる。	B
	Writing	自分の意見や感想を整理し、ある程度まとまった内容を、文章構成を意識しながら書くことができる。	A
		手紙、メール、意見文、要約文等について、目的に応じて(制限時間内に)まとまりのある文章を書くことができる。 (目安:100語程度)	A
		辞書を使用しなくともある程度文章を書き、自分や他人の書いた英文を辞書等を活用しながら推敲することができる。	A
基礎 技能	語彙・発音	2300語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの60%程度は自由に使用することができる。 辞書の例文を読み、その単語の使い方を理解することができる。	B
	音読	内容を理解している英文を、内容が聞き手に聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読できる。	A
	文法	既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを使用して自己表現できる。	B

※ 達成度はA(おおむね80%以上)・B(おおむね60%以上)・C(おおむね40%以上)・D(おおむね40%未満)の4段階。個別と技能毎に年度末に記入

3学年

<育てたい生徒像>	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。	達成度
<具体的到達目標>	習得した英語の知識を生かしながら相手の伝えたいことを理解し、適切な表現を使いながら自分の意見を伝えることができる。 ■外部試験による到達目標目安 GTEC Grade5 50%	GTEC Grade5以上の生徒 26.3 %
Listening	やや複雑な説明を聞いておおむね理解できる。具体的には英検2級レベルのリスニング問題を8割以上理解することができる。 センター試験リスニングレベルの問題を70%程度理解することができる。 150WPMの程度で話される英文をおおむね理解できる。	B
Reading	READINGの教科書等を読み、速読することで要点をつかむ読み方ができる。 センター試験第6問レベルの英文を速読し、20分以内でおおむね内容を理解できる。 長めの物語やエッセイを、辞書を引かなくともある程度推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。 難しい内容の文章を精読し、作者の意図することを読み取ることができる。	B
Speaking	与えられた話題に対して、自分の考えをまとめ、3分以上、スムーズに話すことができる。 日常生活の場面や趣味などについての与えられたトピックについて、適切にワードリストやワードマップを利用すれば、3分以上スムーズに話すことができる。 習得した文法事項を使えるだけでなく、文のつながりも考えながら論理的に話すことができる。	C
Writing	与えられた話題に対して、10分で80語程度以上の英文を書くことができる。 適切な接続詞や構文を用いて、文構造のしっかりした英語で表現することができる。 辞書を引きながら、手紙やレポートなどを便せん1枚以上書くことができる。	B
基礎技能	語彙・発音 3000語の発音、意味、用法が分かる。そのうち、2000語程度は実際にスムーズに用いることができる。 音読 意味のまとめを理解しながら正確に読める。リーディングの教科書レベルを音読し、スムーズに暗唱することができる。 文法 既習した文法事項を場面に応じて適切に用いることができる。	B

※ 達成度はA(おおむね80%以上)・B(おおむね60%以上)・C(おおむね40%以上)・D(おおむね40%未満)の4段階。個別と技能毎に年度末に記入